

令和7年度 久慈拓陽支援学校教職員 働き方改革アクションプラン

～ 明るく 強く 生き生きと ～

久慈拓陽支援学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況
 - ・R6時間外在校等時間が月45時間以上の教職員数、年間延べ人数47人(R4:98人、R:65人)
 - ・R6平均時間外在校等時間19時間(R4:23時間、R5:21時間)

【定性的現状】

- 教職員の意識
 - ・週4日(月～木)の完全退庁時刻(18:45)、週1日(金)の完全退庁時刻(18:00)が全職員に意識づけされている。
 - ・個々にタイムマネジメントをしながら業務を行う意識が向上している。
- 管理職のマネジメント
 - ・スクラップアンドビルドの視点で業務見直し等の対応を行っている。



2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 教職員全員で「明るく 強く 生き生きと」働きます。
- 教職員一人当たりの時間外在校等時間(45時間以上)を40人、平均時間外在校等時間18時間を目指します。

【目指す姿】

- ・ 職員一人一人がやりがいを感じ、児童生徒に向き合っている。
- ・ 教職員が互いに情報共有し、支え合って業務を推進している。
- ・ 教職員が仕事とプライベート(家庭のための時間、自分自身の自由な時間)を大切にして、タイムマネジメントしている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none">・ 休暇を取りやすい職場となるよう、特割の適正実施と有給休暇等の積極的な取得を促します。・ 月の時間外在校等時間が月途中で20時間超となった教職員に声掛けし、健康確保の観点から面談を実施します。
(2)	学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 担当業務について、仕事の手順メモや資料の綴り方を工夫し、誰が見ても分かる資料を作成します。(業務の整理と引継ぎの効率化)・ 学校行事は終了後の反省と同時に次年度の骨子案を作成して確実に引き継ぎます。・ 保護者宛文書の一部をペーパーレス化して、一斉メールの添付文書を活用します。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 学校行事等の教育活動において、登録サポーターの活用を積極的に進めます。・ 生徒の自立と社会参加に向けて地域企業の協力を得ながらキャリア教育を充実させます。
令和7年度 重点取組事項		<ul style="list-style-type: none">・ 令和7年度から新たに「週4日(月～木)の完全退庁時刻18:30」に取り組みます。(ー15プロジェクトR7)・ 「週1日(金)の完全退庁時刻18:00」は継続します。

4 アクションプランの周知方法

- ・ プランを学校のHPに掲載し、会議等を通じて教職員にも周知します。
- ・ 学校運営協議会や地域広報、学校通信等を通じて、地域・保護者に対してプランの内容の説明を行います。